

## &lt;2030 年の SDGs 達成に向けた経営方針等&gt;

「地域農業の価値を高め、持続可能な未来を育てること」を経営目標とし、そのために、自社農場での有機 JAS 認証野菜の栽培と、自社工場での青汁原料の一貫加工に取り組んでいます。また、地元農産物の活用によるフードマイレージの削減や、女性や若手が活躍できる職場環境の整備にも力を入れており、これらの取組を継続・発展させることで、SDGs の実現を目指していきます。

## &lt;SDGs 達成に向けての重点的な取組み及び指標&gt;

三側面	SDGs に関する重点的な取組み	指標 (更新時に向けた数値目標)
<input checked="" type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 社会 <input checked="" type="checkbox"/> 経済	自社農場での有機 JAS 認証栽培の継続と拡大	有機 JAS 認証面積比率(全栽培面積ベース) 2025 年 55% → 2028 年 70%
<input type="checkbox"/> 環境 <input checked="" type="checkbox"/> 社会 <input checked="" type="checkbox"/> 経済	女性や若手、外国人実習生が活躍できる職場環境の整備(柔軟な勤務制度の導入、多様性を尊重した人材育成)	女性従業員比率 2025 年 73% → 2028 年 80% 外国人実習生の受け入れ人数 2025 年 13 名 → 2028 年 16 名
<input checked="" type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 社会 <input checked="" type="checkbox"/> 経済	地元農産物を活用した商品開発と販売強化	地元原料使用商品の売上比率 2025 年 65% → 2028 年 80%

## &lt;SDGs達成に向けてのパートナーシップ&gt;

農業の持続可能性と人材の多様性を重視し、自社農場での有機 JAS 認証栽培と、青汁原料の一貫加工・販売を通じて、環境負荷の低減と食の安心・安全に取り組んでいます。また、ベトナム・インドネシア・タイ・ミャンマーからの技能実習生を受け入れ、国籍や年齢を問わず多様な人材が活躍できる職場づくりを進めることで、SDGs の達成に向けた国際的なパートナーシップを築いています。

- 「SDGs に関する重点的な取組み」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取組みを記載してください。なお、取組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。
- 「指標(更新時に向けた数値目標)」には、それぞれの取組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、更新時までの数値目標を記載してください。
- 「パートナーシップ」には、企業や NPO 法人、行政など関係機関との連携があれば記載してください。